

「和歌山県子ども計画（案）」にかかる県民意見募集（パブリックコメント）の概要（子ども向け回答フォーム提出分）

1 県民意見募集の概要

- (1) 意見募集の期間：令和7年1月6日（月）から令和7年2月5日（水）
- (2) 提出件数：59名 54件（5件は白紙回答）

2 提出されたご意見の概要と県の考え方

1つのご意見を項目に応じて分けて記載しているもの、類似するご意見をまとめているものがあります。

○「子どもや若者、みんなの権利が大事にされ、大人も子どもと一緒に社会を作ることができるようにするための取組」			
番号	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所
1	差別をなくす	男女差別をなくす教育など、みんなの権利を大事にする取組を行います。	第4章基本方針1 (1)
2	とてもいいことだと思う	子どもの権利を守る取組、子どもの意見を大事にする仕組みづくり等に取り組んでいきます。	第4章基本方針1 (1) (2)
3	政治家全員が県民の声を聞いてくれる人にするのが先だと思います	大人が子どもの意見をきちんと受け止めることを、大人に広めていきます。	第4章基本方針1 (2)
4	子どもの意見を聞く機会を作る	意見を言いやすい場を作る大人の活用など、子どもや若者が意見を言いやすい環境づくりを進めます。	第4章基本方針1 (2)
5	市長などが大きくても小さくても決め事をするときに一般の子どもも大人も意見を書き込めるアンケートなどを作って欲しいです。	全ての決め事でアンケートをすることはむずかしいですが、子どもが意見しやすい方法で、意見を言う場をつくることを進めます。	第4章基本方針1 (2)
6	街の色んなところに質問箱、意見箱を設置して自分が今困っていることを書いてもらう。	意見箱の管理など設置した場合の課題があるので、設置するのはむずかしいですが、色々な方法で意見が言える場を作っていきます。	第4章基本方針1 (2)
7	良い	子どもの権利を守る取組、子どもの意見を大事にする仕組みづくり等に取り組んでいきます。	第4章基本方針1 (1) (2)
8	男女差別がないようにすると良い	男女差別をなくす教育など、みんなの権利を大事にする取組を行います。	第4章基本方針1 (1)
9	「〇〇だから」などの偏見や行き過ぎた区別をできるだけ少なくすると良いと思います。	自分や他の人の権利を大切にしよう、学校の授業などをしっかり行いませう。	第4章基本方針1 (1)
10	みんなが助け合い互いに信頼できる人になる	いろいろな人を大事にし、いろいろな人から大事にされ暮らしていくこと意識を育む取組を行います。	第4章基本方針1 (1)
11	みんなの権利が尊重されてみんなで社会を作ることができるというのはすごくいいことだと思って理由は大人だから子どもだからといってしまうのはだめだと思うからです。	「子どもだから大人の言うとおりにしなさい」ということのないよう、子どもの権利と子どもの意見を大事にする取組を大人に広めていきます。	第4章基本方針1 (1) (2)

12	誰でも権利を大切にすること	自分や他の人の権利を大切にしよう、学校の授業などをしっかり行います。	第4章基本方針1 (1)
13	子どもや大人の人も安全に安心して意見を言えたら良いと思いました。	県子ども計画では子どもが安心して意見を言える環境づくりを進めます。	第4章基本方針1 (2)
14	大人だから、子どもだからとか関係なく社会を作っていくのはいいと思います。	子どもの意見を子どもに関係する県の取組に取り入れるようにしていきます。	第4章基本方針1 (2)
15	子どもが自由に意見を言えるようになるのはいいと思います。	子どもが意見を自由に言えることは子どもの幸せにつながると考えています。子どもが意見を言いやすい環境づくりを進めます。	第4章基本方針1 (2)
16	税金の割合を減らしてほしいです。	ご提案内容は、県子ども計画では取り組みませんが、租税教育等、将来社会にかかわることができる取組を進めます。	第4章基本方針1 (2)
17	子どもから大人までの意見を聞いてもらえる社会にする提案をする。	意見を言いやすい場を作る大人の活用など、子どもや若者が意見を言いやすい環境づくりを進めます。	第4章基本方針1 (2)
18	自分の好きなことについて、否定するのではなく相手の好きなことについて尊重する。	自分や他の人の権利を大切にしよう、学校の授業などをしっかり行います。	第4章基本方針1 (1)
19	自分に権利があり、みんなが自分の意見を言えるというのを知れるので良いと思います。	子どもが自分に権利があることを知り、自分の権利を守ることができるよう人権教育の充実などに取り組みます。	第4章基本方針1 (1)
20	具体的にどうやって全ての大人が大切にしてくれるのか？どうやって安全に意見が言えるようにするのか？それはどこで言えるのか？どう社会にかかわれるのかなど、わからない。現実問題、大人が県庁や市役所に行っても若者が積極的に社会にかかわろうとする手段がわからなかったと聞きました。そういう体制になっていないのだと知りました。目標だけかかげられても期待できない。どうせ大人は。とってしまう。具体的なことが決まればその都度、子どもの目につく方法で発信や伝える方法で提示してほしい。	学校を通じてお知らせするなど、できるだけ子どものみなさんに県に行っていることをお伝えする方法をとっていきます。	第4章基本方針1 (1) (2)
21	「反対」と厳しくしなければ気軽に話せるようになりいつか自分らしく生きることができると思います。	意見を言いやすい場を作る大人の活用など、子どもや若者が意見を言いやすい環境づくりを進めます。	第4章基本方針1 (2)
22	差別をなくす。白人差別や貧困、男女差別など。	人権教育の充実など、いろんな人がいることを尊重できる心を育む取組を進めます。	第4章基本方針1 (1)
23	大人の意見を押し付けるのではなく、子どもを応援してあげる。	子どもからの意見を聞く仕組みづくりなど、社会全体で子どもや若者を応援するよう取組を進めます。	第4章基本方針1 (1) (2)
24	マナーは守りながらも、その人の大事だと思うことを尊重することが大切だと思います。 将来、仕事場で好きな髪型・髪色にできるなどと、自分らしさを大切にす社会になることを願っています。	全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針1 (1) (2)

25	お互いを認め合い、モチベーションをあげることが大事だと思います。	自分や他の人の権利を大切にすよう、学校の授業などをしっかり行います。	第4章基本方針1 (1)
○「将来、だれもが自分らしく社会生活を送ることができるようにするための取組」			
	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所
26	無差別や学校でいじめなどが起きないような取り組みがいいと思う	学校の先生や保護者などと一緒に、いじめを許さない環境づくりを進めます。	第4章基本方針2 (3)
27	賛成	全てのこども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
28	自分の得意なこと 自分の好きなことを誰にも否定されない社会にすると良いと思います。	いろいろな体験活動を進めるなどにより、全てのこども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
29	多様性を認めてくれる社会。	多様性を尊重できるこころの育成を進めます。 性的少数者の支援を追記しました。	第4章基本方針2 (3) 第4章基本方針1 (1)
30	学歴に関係なく、自分のつきたい仕事につけるようにすると、誰もが自分らしく社会生活を送れると思います。	つきたい仕事につけるよう、能力の向上や就職相談などの支援に取り組みます。	第4章基本方針2 (1)
31	自分に合う職業に就職することができるように、あまり就職することができなくならないようにする。	つきたい仕事につけるよう、能力の向上や就職相談などの支援に取り組みます。	第4章基本方針2 (1)
32	誰でも将来自分らしくできるのは、その将来のために沢山の行動をしたらしいと思いました。	将来のための行動をとれるよう、ライフデザインをする支援をします。	第4章基本方針2 (1)
33	値段が安い色んな柄や色がある服屋さん (シンプルでもよし)	ご提案内容は、県こども計画では取り組みませんが、全てのこども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
34	良い	全てのこども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
35	自分のきもちをもつこと	自分のきもちを持てるよう、いろいろな体験活動の場づくりなどの環境づくりに取り組みます。	第4章基本方針2 (1)
36	差別や偏見がないようにする	自分や他の人の権利を大切にすよう、学校の授業などをしっかり行います。	第4章基本方針2 (1)
37	私は、自分らしくいられるのは楽しくて自分に自信が持てると思うからこの活動はとて素晴らしいと思います。	自分に自信をもって健やかに成長できるよう、いろいろな体験活動の場づくりなどの環境づくりに取り組みます。	第4章基本方針2 (1)
38	・これは、こどもが安全に成長できるようになっているので良いと思いました。 ・私は、とても良いと思いました。私は保育園にかよっていたけど、私のいとこが保育園に入るとき、空いているところあまりなくておばが苦勞していたので。	・こどもや若者の安全、安心を確保する取り組みを進めます。 ・保育園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。	第4章基本方針2 (3) 第4章基本方針2 (1)
39	誰もが自分らしく社会生活を送ることができればもっと社会が良くなりそうだなと思いました	全てのこども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指し、豊かな心の育成や安全、安心の確保に取り組みます。	第4章基本方針2 第3章1 基本理念

40	成長に応じた支援をすることで誰もが自分らしく社会生活を送ることができると思いました。	全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指し、豊かな心の育成や健やかな体の育成に取り組みます。	第4章基本方針2 (1)～(3)
41	人それぞれ夢はあるから、いいと思います。	全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
42	生まれてから大人になるまで、成長に応じた支援をするというのが具体的にどんなのかわかりません。	具体的には、赤ちゃんには健康状態を見たり、小学生くらいまでの子どもにはしっかり遊べる環境を作ったり、学校に通い始めたら学力や体力向上など、働きたい人には就職の支援など、成長するにつれ必要となる支援をします。	第4章基本方針2 (1)～(3)
43	安全、安心に過ごせる方法や、生活習慣を身につけることができるようになるのが良い取り組みだと思いました。	子ども、若者が自分らしく幸せに生活できるよう取組を進めます。	第4章基本方針2 (2)
44	自分らしく生きられないということはその人にとってもしんどいと思うし、自分らしく生きられるのは誰にも縛られないから、とても良いと思います。	全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針2 (1)～(3)
45	全て具体的にどう取り組むのかまで提示できるようになったら発信すべき。 色々な体験の場とありますが、小さい子への取り組みは少しあるようですが、小学生から若者などへはなかなか見つけられません。学校がしてくれる体験は少なく、街中でも都会と比べ体験できることが少ない。 わざわざ市報から探す子どもなどいないに等しいと思うので、子ども達が自分の意思で行きたい、体験したいと思えるよう発信すべき。 学校の手紙に入っているイベント情報など見ている子どもの方が少ないのが現実です。ワクワクさせていないのが問題。見ても親に伝えない子どももいる。手紙を見ない保護者もいる。違うやり方も検討すべき。	より魅力のある体験イベントの開催に取り組みます。また、広報について、学校でのお知らせの仕方、SNSやホームページの活用などよりイベントをお知らせできる方法を検討します。	第4章基本方針2 (2)
46	いじめがあったら、いじめた人といじめられた人でクラスを別にする。	いじめ対応の一つとして取り組みます。	第4章基本方針2 (3)
47	いじめなどを減らすことや差別をなくすことでみんな仲良く暮らせると思いました	いじめを許さない環境づくり、早期発見、早期解決に取り組みます。いろいろな人がいることを尊重できる心を育む取組を進めます。	第4章基本方針2 (3) 第4章基本方針1 (1)
48	災害時、子どもや高齢者、病気を持っている人、怪我をしている人、苦しそうな人を優先に、ボランティアで助ける協会を作る	ご提案内容は、県子ども計画では取り組みませんが、災害時に県民が困らないようにするため関係する機関と協力します。	第4章基本方針2 (3)
49	僕のお母さんのお兄ちゃんも子どもをどこの保育園や幼稚園に通わせたらいいかで悩んでたので良いと思います。	どういった保育園や幼稚園があるのか、選ぶ時に参考となる情報提供を市町村とともに進めていきます。	第4章基本方針2 (1)
50	保育園に行けない子どもが多いと聞いたことがあるので、保育園を作ったり、保育園で働く人を増やす取り組みをする。 そのために、給料を高くする。	保育士として働く人を増やすなどし、保育園に入りたい人が入れるよう取り組みます。	第4章基本方針2 (1)

51	保育園や幼稚園を増やす取り組み	保育園や幼稚園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。	第4章基本方針2	(1)
52	待機児童がなくなるように保育所や幼稚園を増やす	保育園や幼稚園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。	第4章基本方針2	(1)
53	保育園などを増やす	保育園や幼稚園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。	第4章基本方針2	(1)
54	保育園などを増やす	保育園や幼稚園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。	第4章基本方針2	(1)
55	保育園などの、幼児を見守れるような施設を建設する提案をし、虐待のない施設を目指すように提案もする。	保育園や幼稚園に入りたい人が入れるよう市町村とともに取り組みます。 また、こどもに関わる人がこどもを虐待しないよう取組を進めます。	第4章基本方針2 第4章基本方針3	(1) (4)

**○「どんなことがあっても、誰もが幸せに過ごせるようにするための取組」**

	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所	
56	障害者は仕事ができないなどの、差別がない社会にする提案をする。	障害のあるこども、若者の自立を支援します。 仕事につけるよう支援することを追加しました。	第4章基本方針3	(3)
57	協力すること	色々な人と協力することで誰もが幸せに過ごせるようにする取組が進めやすくなります。	第4章基本方針3	(1)～(6)
58	相談できる場所をつくると良いと思います。	それぞれの状況に応じ、相談できる場所を設置します。	第4章基本方針3	(1)～(6)
59	どんなことがあっても、みんなで協力したら良いと思います。	色々な人と協力することで誰もが幸せに過ごせるようにする取組が進めやすくなります。	第4章基本方針3	(1)～(6)
60	色々な人と協力をしたら良い。	色々な人と協力することで誰もが幸せに過ごせるようにする取組が進めやすくなります。	第4章基本方針3	(1)～(6)
61	何があってもみんなで協力する	色々な人と協力することで誰もが幸せに過ごせるようにする取組が進めやすくなります。	第4章基本方針3	(1)～(6)
62	自分の悲しい気持ちは、その悲しい気持ちをプラスに考えたいと思いました。	悲しい気持ちをプラスにできるようになるよう、居場所づくりなどの支援に取り組みます。	第4章基本方針3	(1)
63	生活や差別で悩んでいる人向けの支援団体を作る。	さまざまな団体のご協力を受けながら、支援に取り組みます。	第4章基本方針3	(1)
64	良い	全てのこども、若者に良好な育成環境を確保する取組を進めます。	第4章基本方針3	(1)～(6)
65	相談できる人を用意する	それぞれの状況に応じ、相談できる場所を設置します。	第4章基本方針3	(1)～(6)
66	人によってそれぞれの幸せの形があるので、どんな事があっても、誰もが幸せに過ごせる取り組みは難しいと思います。	結果的にそうなるかもしれませんが、可能な限り取り組んでいきます。	第4章基本方針3	(1)～(6)
67	みんなが公平に日々を楽しめるようにできているので、良いと思いました。	全てのこどもが幸せな状態で生活を送ることができる社会を目指します。	第4章基本方針3	(1)～(6)

68	障害などがある人たちのことを支援してってしあわせにするとりくみは すごくいいことだと思いました	障害等のある子どもや若者の状況に応じた支援に取り組みます。	第4章基本方針3 (3)
69	困っている人がいたら、助け合い・褒め合う事が大事。	助け合い、褒め合うことで誰もが幸せに過ごせるようにする取組が進めやすくなります。	第4章基本方針3 (1)～(6)
70	障害のある人を差別したりせず、相手のことを尊重することで誰もが幸せに過ごせると思います。	障害のある子どもと障害のない子どもが互いに理解しあう取組を進めます。	第4章基本方針3 (3)
71	みんな幸せの感じ方は違うから、まわりのサポートが必要だと思います。	それぞれの状況に応じた支援をしていきます。	第4章基本方針3 (1)～(6)
72	すべての人が、子どもや若者に暴力や暴言などひどい扱いをしないような取組みはいいと思います。	児童虐待を防止する取組を強化していきます。	第4章基本方針3 (4)
73	みんなが安心してくらせる社会を提案する。	全ての子どもが幸せな状態で生活を送ることができる社会を目指します。	第4章基本方針3 (1)～(6)
74	だれもが幸せに過ごせる支援だし、障害のある人の成長を支援するのがいいと思いました。	障害のある子ども、若者の発達や自立を支援します。	第4章基本方針3 (3)
75	母子家庭や、父子家庭の人たちの子どもの人数にもっと見合った補助金？ が欲しいです。	ひとり親の家庭向けの手当の支給やお金の貸付制度など、経済的な援助に取り組みます。	第4章基本方針3 (2)
76	学費などの負担を少なくしてあげると良いと思います。	授業料や就学、進学にかかる費用を支援します。	第4章基本方針3 (1)
77	安心して子どもを産み育てるにはもし産み育てるときになかったりしたとき私が子どもを育てることを保証します。とかの支援団体を作ったりする。	親が亡くなってしまった場合でも、親の代わりに子どもを育てる仕組みづくりを充実していきます。	第4章基本方針3 (5)
78	教育費などを少し負担するなど	授業料や就学、進学にかかる費用を支援します。	第4章基本方針3 (1)
79	誰もが自分らしく社会生活を送れるわけじゃないし、家庭の事情とかで社会生活を送れない人もいるから送れるようにするための取組みはいいと思います。	いろいろな状況にある子どもにも、その状況に応じた支援を行い、全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本方針3 (1)～(6)
80	家の事情で家族と過ごせない人や楽しく幸せに暮らせない子でも「誰もが幸せに過ごせるようにするための取組」があれば、その人も少しずつ幸せになれると思うので良い取組だなと思います。あと、4番の取組も5番と内容が似ているのでどちらの取組とつながるので良いなと思いました。	いろいろな状況にある子どもにも、その状況に応じた支援を行い、全ての子ども、若者が自分らしく幸せに生活できる社会を目指します。	第4章基本理念 (1)～(6)

**○「すべての大人が、社会全体で子どもや若者を応援するための取組」**

	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所
81	大きい公園を作ったり、図書館を作って欲しいです。	公園、図書館など子どもや若者が居場所としている施設が充実するよう取り組みます。	第4章基本方針4 (1)

82	公園をもっと整備してこどももお年寄りも気軽にいけるようにしてほしい。草ボーボーだったり全体的に暗く怖くていけない	公園、図書館などこどもや若者が居場所としている施設が充実するよう取り組みます。	第4章基本方針4 (1)
83	みんなが参加できるお祭り 例 高齢者（車椅子に乗っている人）でも楽しく遊べる的あてゲームなど	地域でのこども交流活動の取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
84	不登校だから〇〇、成績が悪いから〇〇じゃなくてリモート制度を取り入れたり、成績重視じゃなくて人間性を見る。	学習できる環境を整え、色々な体験ができる機会を増やすことで生きる力を身に付けられるよう取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
85	良い	社会全体でこども、若者や子育てを支援します。	第4章基本方針4
86	教科書などの費用が国などに支援されるようにする	教科書費用は無償となっていますが、県において給食費を無償としていきます。	第4章基本方針4 (2)
87	すべての大人は無理かもしれませんが、若者の未来を予想し、社会を次の世代へ変えていく大切な存在と考えることで自然と応援できるのではと思います。	そういった考えが広がるよう取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
88	こども一人じゃできないことも、社会全体が後押ししてくれて未来が明るくなればいいなと思いました。	地域における支援など、社会全体でこどもや若者を応援するよう取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
89	こどもや若者に目を向けていくというのがすごくいいことだなと思いました	社会全体でこどもや若者を応援するよう取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
90	頑張っている人を応援していることはいいことだと思いました。	こどもや子育てを応援する取組を推進します。	第4章基本方針4 (3)
91	中央コミセンにこどもの遊び場を作って欲しいです。せっかく図書館はあるのに遊ぶところがなくて残念。	公園などこどもが安全に遊べる環境づくりを推進します。担当している和歌山市にも伝えます。	第4章基本方針4 (1)
92	子育てを手助けしてくれるのが、いいと思いました。	地域でも子育て応援など、子育てにやさしい社会になるよう取り組みます。	第4章基本方針4 (3)
93	全ての大人がとあるが、全てと言う言葉は重い。子を持たない人達への配慮も必要だと思う。私の親は不妊治療を経験しているので、そういった方々の子に優しくできない、心の病、辛い話を何度も聞く機会がありました。全ての大人と言う言葉に怖さを感じました。 子育てしていない方や子育てを終えられた方々が沢山いるので、そういった一般の方々にも協力をお願いできると思います。	子育て中の方だけでなく、なるべく多くの方が、こどもにやさしくできる社会を目指したいと考えています。	第4章基本方針4 (1)
94	私の家のすぐ近くにある公園では、幼稚園・保育園生がたくさん遊んでいて、小学生が遊べないので、小さいこども（0～3歳）でも安全に遊べるような、小さい公園をつくる。 それぞれの校区内に一つは遊具がある大きい公園をつくってほしい。	ご提案内容の実現は難しいですが、こどもが安全に遊べる環境づくりを進めます。	第4章基本方針4 (1)

95	小さな子どもから大人まで遊べる公園などを校区に一つ作ってほしいです。 そうすることで、家でずっと子どもが引きこもることがすくなくなると思っています。	ご提案内容の実現は難しいですが、子どもの居場所となる公園など公共施設の遊び場の充実に取り組みます。	第4章基本方針4 (1)
96	公園が少ないから校区内に大きい公園を作ってもらいたい	ご提案内容は難しいですが、子どもが安全に遊べる環境づくりを進めます。	第4章基本方針4 (1)
97	怪我をしても保険会社が、責任を持って対応してくれるようにしてほしいと思います。	保険加入することは県で取り組むことはできませんが、安全に遊べる環境づくりを進めます。	第4章基本方針4 (1)
98	角とか尖ったところを減らすといいと思います。	子どもや若者の安全、安心を確保する取り組みを進めます。	第4章基本方針4 (1)
99	学童が増えたらいいなと思いました	学童保育が充実するよう市町村とともに取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
100	相手のことを思って言葉を言ったり、頑張っているときに応援する。	そういった考えが広がるよう、社会全体で子どもや若者を応援するよう取組を進めます。	第4章基本方針4 (1)
101	どうせ。って思っています。 どう取り組むかどう取り組んでいるのか、その都度具体的に提示する必要がある。提案ですが、教育や生活の支援を民間やボランティア、中高生や若者、高齢者など老若男女市民にも協力してもらえばいいと思う。お互いの為にもなる。もちろん安全と安心についてやその他課題はありますが、それを検討し安全安心に繋げることが大人の役割で取り組みだと思えます。	県の取組には地域住民の方のご協力が必要です。ご協力をお願いしながら、取組を行っていきます。	第4章基本方針4 (1)

### ○「安心して子どもを産み育てることができるようにするための取組」

	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所	
102	会社の残業とかの時間を減らしてほしいです。	長時間、労働させないよう会社へ働きかけるなど、働き方改革に取り組みます。	第4章基本方針5	(3)
103	スーパーなどで子ども（小学校高学年、中学生、高校生、大学生など）を連れてきている人には「こんな仕事どうですか？」というチラシを配る。	ご提案内容は実現は難しいですが、就職支援をする体制の整備に取り組みます。	第4章基本方針5	(2)
104	仕事を投げ出さずに、継続できるように工夫することを提案する。	職場の環境改善に取り組みます。	第4章基本方針5	(3)
105	「⑤安心して子どもを産み育てることができる」ので最近少子高齢化の問題があり、お金のことなどで大変で育児ができない人もいると思うし、育て方のコツなどもわからない方もいて不安だと思うのですぐ助かると思っています。	親の子どもへのかかわり方を学ぶ機会を設けるなど、親への支援に取り組みます。	第4章基本方針5	(2)
106	周りの人達が支えてあげたりしたら良いと思います。	社会全体で、子育てを支える社会づくりに取り組みます。	第4章基本方針5	(1)～(3)
107	良い	安心して子どもを産み育てることができよう取組を進めます。	第4章基本方針5	(1)～(3)
108	素晴らしい取り組みだと思えます	安心して子どもを産み育てることができよう取組を進めます。	第4章基本方針5	(1)～(3)

109	産後の心配などを軽減できるように、賃金や税金の問題を考えたほうが良いかと思います。お金があれば、それなりの心配は軽減できるかと思いません。	妊産婦への経済的支援に取り組みます。また、若者が将来の人生設計をしやすい環境づくりに取り組みます。	第4章基本方針5	(1)
110	子育てがしやすい環境を作るためにも自分も頑張っていきたいなと思いました	県民のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。	第4章基本方針5	
111	もうすぐ生まれますと言うタグをつくと良いともいました。	ご提案内容によく似たマタニティマークのタグの配布を市町村で実施しているところです。妊婦にやさしい社会になるよう取り組みます。	第4章基本方針5	(1)
112	最近ニュースなどでこどもを産みたくても産める環境じゃなくて困っているというニュースを見るので、この取り組みは、いいと思います。	共働き、とも育てを進めるなど、安心してこどもを産み育てることができるよう取組を進めます。	第4章基本方針5	(1)～(3)
113	子育てがしやすい働き方とありますが、現実問題難しいでしょう。子連れで働ける場所や休みのとりやすい職場だらけにはなれないと思います。親はそれで仕事を辞めました。提案ですが、隙間バイトアプリのようなものを市から出せないでしょうか？有名なアプリに和歌山市の求人はほとんどないそうです。親には隙間時間があります。パートの方や専業主婦の方、仕事とは別に隙間に少し手伝うくらいなら依頼された方も働く方もウィンウィンじゃないですか？	就職の支援や、育児休業の取りやすい職場づくりを会社へ働きかけるなど、子育てしやすい職場づくりに取り組みます。	第4章基本方針5	(2) (3)
<b>○その他</b>				
	ご意見	回答	意見がのっている計画の場所	
114	市や県はそちらで全てしなくてはいけないと考えているように感じました。こうします。とだけ一方的な目標だけ掲げていると感じました。市民を巻き込み皆んなで子育てをする！と言う提案をしておいて、市民がどう参加したらいいのかが分からない。こんな提案を見れば助けたいと思う市民もいれば、協力したい企業もあると思います。それを仕事にしてくれる方もいるかもしれません。市民を巻き込み皆んなで子育てをする、その土台や基盤を示すのが市や県の取り組みだと思えます。初めての試みに奮闘する県にしてほしいです。	この計画は、県のこどもに関する取組の方針を示すものです。それぞれの取組を行うに当たっては、県民のみなさまのご理解、ご協力が必要となりますので、これらが得られるようにしていきます。	第1章	
115	スクールバスがもう少し家の近くまで来てほしい。給食の量を増やしてほしい。	計画には記載ませんが、学校環境の改善は進めていきます。	第4章基本方針4	(1)